

十王思想と十三仏思想の融合

十王の思想は中国の道教の影響で成立し、わが国には平安時代に禅宗とともに伝来したらしい。中国と朝鮮で十王像と地藏菩薩とが冥府思想に現れ、わが国に入り奪衣婆が誕生し、十王にそれぞれ本地仏が配対された。それらの関係図は左記のとおりです。

この内容は、第80回で紹介済みですが、「この世」「あの世」で裁かれることの大変さに触れ、ことの重さに改めて気付いた気がします。

忌日	道教	仏教	十三仏の任務
六道悪と善	十王 (裁判官)	十三仏 (本地仏 (弁護士))	
初七日	秦広王	不動明王	叱咤激励する
二七日	初江王	釈迦如来	真理を説く
三七日	宗帯王	文殊菩薩	智慧と光明にと教える
四七日	五官王	普賢菩薩	仏を礼拝し供養せよと
五七日	閻魔王・閻魔王	地藏菩薩	救いの手をさしのべる
六七日	変成王	弥勒菩薩	未来の希望を持ってとう
七七日	太山王	薬師如来	悩める亡者の病を癒やす
百ヶ日	平等王	観世音菩薩	安らかな境地に導く
一周年	都市王	大勢至菩薩	極楽浄土へ導く
三周年	五道転輪王	阿弥陀如来	極楽浄土で迎えてくれる
七周年	蓮華王・蓮土王	阿閼如来	修行すべき方向に導く
十二周年	慈恩王・拔舌王	大日如来	仏の列に加われる
三三三周年	祇園王・慈恩王	虚空蔵菩薩	本然清浄界で空に帰する
(悪) 地獄・餓鬼・畜生 (善) 修羅・人道・天道	奪衣婆・懸衣翁		三途の川の辺りで罪人の衣服を奪い取り、それを衣領樹に掛ける懸衣翁に渡す老鬼女をいう。

参考文献 日本石仏事典 第二版 庚申懇話会編

昭和村ボランティアガイドの会

事務局長 島田 民夫



地域にとって大切な場所、サロンの活性化を目指して!

～第5回きずなサポーター会議(12月15日)の報告～

今回は、医療法人大誠会内田病院グループ統括介護部長の黒木勝紀先生を講師にお迎えし「ブレインタフネスサポーター講座」を行いました。会議にはサポーター28名が出席し、脳を活性化させる生活習慣やエクササイズの方法などについて、楽しく学びました。

参加されたサポーターの方からは「こたつで丸くならないで体を動かすことを心掛けようと思いました」「新しい発見がありとても有意義な時間でした」「認知症予防のために日常生活を見直してみようと思いました」などの声が聞かれました。



▲黒木先生が参加者に質問



▲脳を活性化するエクササイズ



問合せ 地域包括支援センター ☎20-1126

